

## 南海トラフ地震情報

8月8日16時43分頃、日向灘を震源地とする「震度6強」(M7.1)の地震発生がありました。

気象庁では、当日夜南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を臨時に開催し、この地震と南海トラフ地震との関連性について検討しました。

「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。

今回の地震発生は、南海トラフ地震帯地域に西側端の日向灘で発生しましたが、いつどの地域で発生するか予測は難しい状態です。もし東側端の相模湾地域で発生した場合は、横浜市の各地で家屋の倒壊や全壊・半壊の家屋が発生し、交通の混乱等が発生する可能性がありますので、「今回の日向灘の地震発生を対岸の火事」と捉えるのではなく、身近に大地震が迫っていると考えて、家族間で避難の仕方・安否確認方法や備蓄品の点検など、地震への備えを再確認する事が必要です。

### 参考情報

#### \* 気象庁の検討会議の内容

この地震は、西北西・東南東方向に圧力軸をもつ逆断層型で、南海トラフ地震の想定震源域内における陸のプレートとフィリピン海プレートの境界の一部がずれ動いたことにより発生したモーメントマグニチュード7.0の地震と評価されました。南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられます。

南海トラフ地震には多様性があり、大規模地震が発生した場合の震源域は、今回の地震の周辺だけにとどまる場合もあれば、南海トラフ全域に及ぶ場合も考えられます。

最大規模の地震が発生した場合、関東地方から九州地方にかけての広い範囲で強い揺れが、また、関東地方から沖縄地方にかけての太平洋沿岸で高い津波が想定されています。

今後の政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください。気象庁では、引き続き注意深く南海トラフ沿いの地殻活動の推移を監視します。

#### \* 南海トラフ地震のメカニズム

宮崎県日向灘から伊豆半島相模湾にかけて発生想定する地震で「南海トラフ地震」として、今後大きな地震が起こると予想される地域です。

地震の発生メカニズムは、フィリピン海プレートがユーラシアプレートの下に沈み込みが起きており、この時地殻の歪が生じてこの是正の為地殻が大きく動き地震となる。